



2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月29日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL https://www.shimano.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島野 容三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 廣瀬 充康 (TEL) 072-223-3254
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 2019年9月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	181,949	4.1	34,053	△1.3	34,644	△9.7	24,766	△10.6
2018年12月期第2四半期	174,731	7.1	34,512	11.9	38,350	42.4	27,718	48.0

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期17,778百万円(14.0%) 2018年12月期第2四半期15,588百万円(△24.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	267.17	—
2018年12月期第2四半期	299.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	515,593	464,044	90.0
2018年12月期	503,845	453,457	90.0

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 463,905百万円 2018年12月期 453,318百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2018年12月期については当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	77.50	—	77.50	155.00
2019年12月期	—	77.50	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	77.50	155.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期第2四半期末配当金の内訳 特別配当 71円25銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	362,000	4.0	67,000	2.0	67,600	△8.1	49,300	△8.6	531.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年12月期 2 Q	92,720,000株	2018年12月期	92,720,000株
2019年12月期 2 Q	18,836株	2018年12月期	18,430株
2019年12月期 2 Q	92,701,385株	2018年12月期 2 Q	92,702,485株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実績の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期におきましては、米中貿易摩擦の影響があり世界的に経済減速の懸念が強まりました。欧州では、米中問題や英国のEU離脱問題の長期化に伴い交易環境の不透明感がいっそう高まったものの、雇用・所得環境の改善に支えられ個人消費が拡大し、景気は底堅く推移しました。米国では、米中問題が景気の先行きに対する不確実性を強めた一方で、足許は良好な雇用・所得環境を背景に堅調に推移しました。日本では、個人消費は緩やかな拡大基調にあるものの、世界的な保護主義の動きから企業の業況は力強さを欠き、景気の先行きに翳りが見える展開となりました。

このような状況のもと、当社グループは、「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を使命に、健康志向や環境保全意識の高まりといった追い風の中、こころ躍る製品づくりを通じ、より豊かな自転車ライフ・フィッシングライフのご提案をしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は181,949百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は34,053百万円（前年同期比1.3%減）、経常利益は34,644百万円（前年同期比9.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24,766百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

欧州市場では、春先から天候にも恵まれ、完成車の店頭販売は電動アシストスポーツバイクを中心に好調を維持しました。市場在庫も適正な水準で推移しました。

北米市場では、完成車の店頭販売台数は年初来軟調でしたが、3月後半以降は天候が改善し高級車を中心に販売環境が好転したこともあり販売金額は前年並みで推移しました。市場在庫については適正レベルを維持しました。

中国市場では、完成車の店頭販売は明確な改善の兆しがみえず、引き続き力強さを欠く状況が続きました。一方で市場在庫は適正なレベルを維持しました。

他の新興国市場について、南米市場では、ブラジル市場では引き続き回復基調を維持したものの、アルゼンチン市場は通貨安の影響で低迷が続きました。市場在庫はアルゼンチンを除き、適正に推移しました。

日本市場では、全体的に天候に恵まれたものの、高級スポーツバイクの販売は低調に終わりました。一方、通勤通学においてスポーツタイプのクロスバイクや電動アシスト車への切替えが一層進み、販売台数は減少しましたが、販売単価は上昇しました。市場在庫はやや高めで推移しました。

このような市況のもと、高級ロードバイクコンポーネント用ディスクブレーキや、電動アシストスポーツバイクコンポーネントのSHIMANO STEPSシリーズが引き続き好評を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は143,599百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は28,613百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

② 釣具

日本市場では、年始から暖かい気候が続きゴールデンウィーク中も天候が安定したことで小売店の来客数が増加し、販売は堅調を維持しました。

海外市場において、北米市場では、堅調な国内景気に支えられ販売は順調に推移しました。欧州市場では、大陸部の国で販売は力強さを欠いたものの、イギリスにおいては市場が持ち直し販売は好調でした。アジア市場では、中国を中心としてスポーツフィッシングの高い人気が続出し販売は好調でした。豪州市場では、天候は全般的に良く主に量販店で販売が伸びました。

このような市況のもと、日本では、新製品を含む高価格帯リールが好調を維持し、売上は前年を上回りました。また、海外市場でも、全体的にルアー関連製品の販売が好調であったため、売上は前年を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は38,179百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は5,473百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は170百万円（前年同期比6.0%減）、営業損失は33百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は515,593百万円(前連結会計年度比11,748百万円の増加)となりました。これは、建設仮勘定6,917百万円、現金及び預金が5,708百万円、リース資産が3,135百万円それぞれ増加し、投資その他の資産のその他が2,038百万円、建物及び構築物が1,541百万円、流動資産のその他が1,051百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

負債合計は51,548百万円(前連結会計年度比1,160百万円の増加)となりました。これは、短期借入金が1,338百万円、固定負債のその他が1,008百万円それぞれ増加し、買掛金が1,255百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は464,044百万円(前連結会計年度比10,587百万円の増加)となりました。これは、利益剰余金が17,582百万円増加し、為替換算調整勘定が6,543百万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、229,305百万円(前連結会計年度比52,913百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、31,831百万円の収入(前年同期は24,771百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前四半期純利益34,365百万円、減価償却費8,907百万円等によるものです。また主な支出要因は法人税等の支払額9,644百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、31,338百万円の収入(前年同期は27,068百万円の支出)となりました。主な収入要因は定期預金の払戻による収入56,757百万円等によるものです。また主な支出要因は有形固定資産の取得による支出14,117百万円、定期預金の預入による支出10,452百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、6,352百万円の支出(前年同期は8,785百万円の支出)となりました。主な支出要因は配当金の支払額7,183百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、新製品の立ち上げ費用、受注好調な製品の増産ならびに製造工程の改善に係る費用の増加が見込まれること、また当第2四半期連結累計期間において、アジア通貨安の影響から営業外費用が減少したこと等を踏まえ、次のとおり変更いたします。

2019年12月期 通期連結業績予想数値の変更 (2019年1月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	365,000	73,000	71,100	51,900	559.86
今回修正予想 (B)	362,000	67,000	67,600	49,300	531.82
増減額 (B-A)	△3,000	△6,000	△3,500	△2,600	
増減率 (%)	△0.8	△8.2	△4.9	△5.0	
前期実績 (2018年12月期)	348,035	65,687	73,588	53,931	581.77

また、当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営上の主要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

この基本方針に基づき、今回の中間配当金につきましては、前年同期と同様の1株当たり77円50銭(うち特別配当71円25銭)とさせていただきます。なお、当期の年間配当額についても、前期と同様の1株当たり155円(うち特別配当142円50銭)を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	242,903	248,611
受取手形及び売掛金	38,989	39,589
商品及び製品	36,069	36,733
仕掛品	23,002	23,048
原材料及び貯蔵品	4,968	5,396
その他	7,670	6,618
貸倒引当金	△259	△289
流動資産合計	353,343	359,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,703	56,162
機械装置及び運搬具(純額)	21,560	21,476
土地	13,622	13,521
リース資産(純額)	69	3,204
建設仮勘定	15,088	22,006
その他(純額)	5,950	5,917
有形固定資産合計	113,995	122,289
無形固定資産		
のれん	4,413	4,078
ソフトウェア	6,404	6,038
その他	3,833	3,588
無形固定資産合計	14,650	13,705
投資その他の資産		
投資有価証券	12,185	11,431
繰延税金資産	5,917	6,746
その他	4,294	2,255
貸倒引当金	△541	△543
投資その他の資産合計	21,855	19,890
固定資産合計	150,501	155,884
資産合計	503,845	515,593

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,995	12,740
短期借入金	602	1,940
未払法人税等	7,097	6,721
賞与引当金	2,098	1,790
役員賞与引当金	186	84
火災損失引当金	1,609	1,386
その他	17,474	17,928
流動負債合計	43,064	42,591
固定負債		
長期借入金	482	233
繰延税金負債	220	643
退職給付に係る負債	3,327	3,778
その他	3,293	4,301
固定負債合計	7,323	8,957
負債合計	50,388	51,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,642	5,642
利益剰余金	411,476	429,059
自己株式	△121	△128
株主資本合計	452,610	470,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,560	2,116
為替換算調整勘定	△1,852	△8,396
その他の包括利益累計額合計	708	△6,279
非支配株主持分	139	139
純資産合計	453,457	464,044
負債純資産合計	503,845	515,593

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	174,731	181,949
売上原価	104,818	111,346
売上総利益	69,913	70,603
販売費及び一般管理費	35,401	36,549
営業利益	34,512	34,053
営業外収益		
受取利息	1,621	2,113
受取配当金	223	220
為替差益	2,477	—
その他	550	413
営業外収益合計	4,872	2,748
営業外費用		
支払利息	105	47
寄付金	129	791
為替差損	—	925
その他	799	391
営業外費用合計	1,034	2,157
経常利益	38,350	34,644
特別損失		
工場建替関連費用	55	13
火災損失	2,186	265
特別損失合計	2,241	279
税金等調整前四半期純利益	36,108	34,365
法人税、住民税及び事業税	8,801	9,819
法人税等調整額	△412	△228
法人税等合計	8,388	9,591
四半期純利益	27,719	24,774
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,718	24,766

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	27,719	24,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△600	△444
為替換算調整勘定	△11,530	△6,551
その他の包括利益合計	△12,131	△6,995
四半期包括利益	15,588	17,778
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,600	17,778
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,108	34,365
減価償却費	8,768	8,907
受取利息及び受取配当金	△1,844	△2,334
支払利息	105	47
為替差損益(△は益)	△6,129	908
売上債権の増減額(△は増加)	△1,897	△1,094
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,101	△2,318
仕入債務の増減額(△は減少)	400	△849
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	454
工場建替関連費用	55	13
火災損失引当金の増減額(△は減少)	1,565	△223
火災損失	621	265
有形固定資産除売却損益(△は益)	138	144
未払賞与の増減額(△は減少)	1,823	1,869
その他	△3,924	△975
小計	33,666	39,182
利息及び配当金の受取額	1,668	2,392
利息の支払額	△114	△53
火災による支払額	△359	△46
法人税等の支払額	△10,089	△9,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,771	31,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△57,187	△10,452
定期預金の払戻による収入	42,268	56,757
有形固定資産の取得による支出	△10,753	△14,117
無形固定資産の取得による支出	△1,074	△1,314
工場建替関連費用の支払額	△67	△8
その他	△252	474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,068	31,338
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,336	1,381
長期借入金の返済による支出	△253	△239
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8	△304
自己株式の取得による支出	△5	△6
配当金の支払額	△7,181	△7,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,785	△6,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,883	△3,903
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△13,965	52,913
現金及び現金同等物の期首残高	199,762	176,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	185,796	229,305

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	137,918	36,631	181	174,731	—	174,731
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	137,918	36,631	181	174,731	—	174,731
セグメント利益又は損失(△)	29,506	5,069	△64	34,512	—	34,512

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	143,599	38,179	170	181,949	—	181,949
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	143,599	38,179	170	181,949	—	181,949
セグメント利益又は損失(△)	28,613	5,473	△33	34,053	—	34,053

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。